

トムジーチェックで母豚群の PRRS 免疫安定化を確認してみませんか？

養豚農場で PRRS の検査をする際、個体ごとの抗体検査とステージごとの遺伝子検査（PCR）を実施する場合があります。当所管内では、「あなたの農場は PRRS のステージⅢです」という結果をもらっている方がほとんどではないでしょうか。そこで、次の検査からは一歩進んで、『ステージⅢ』 = 『母豚群の PRRS 免疫安定化』が確実に行われているかどうか、トムジーチェックで確認してみませんか。

☆母豚群が免疫安定化すると

①母豚から子豚への垂直感染が起こらない

➡ 離乳豚が陰性になる

②母豚間の水平感染が起こらない

➡ PRRS による繁殖障害がなくなる

1 方法

- ・月 1 回定期的に、6 か月間継続して哺乳豚から採血
- ・哺乳豚は 1 腹から 1 頭ずつ、飼養規模にもよるがおおむね 10 腹以上採血
- ・1 腹の中の採血優先順位は虚弱豚→オス→その他
- ・5 頭プールで PRRS・PCR 検査実施する
- ・できるだけ母豚の産歴をばらけさせる（6 か月間でばらけていれば OK）

2 採血頭数

母豚の約 1/6 が分娩舎にいる→その約 1/2 がおそらく 10 日齢以上

…という推測に基づいて哺乳豚採血頭数を計算

<例> （※農場によって状況が異なるので相談しながら決めます）

経産母豚 180 頭規模 = 分娩舎には哺乳中の母豚が約 30 頭

→ 10 日齢以上の腹より、哺乳豚 10~15 頭採血（できるだけ 5 頭単位）

→ 6 か月継続すると母豚数の約 1/2~1/3 について検査可能

3 検査料金

5 頭プール = PCR・1 検体 = 1500 円

→ プール数 × 1500 円

<例> 哺乳豚 15 頭採血した場合、1500 円 × 3 プール = 4500 円

☆トムジーチェックで 6 か月間 PCR 陰性であれば、母豚の PRRS 免疫安定化が確認でき、陽性の検体があった場合は、母豚の馴致方法を見直す必要があります。

☆母豚が免疫安定化していることが確認できれば、PRRS 清浄化に向けての次の行動が始められます。検査については家畜保健衛生所までご相談ください。